

水道事業会計

営業

令和4年度の水道事業では、年間有収水量842万787[㊦] (前年度比1.05%減) を各家庭や企業に給水し、料金収入は、16億5108万6千円でした。

最大配水日は1月25日で、1日当たり2万7145[㊦] (前年度比1.50%増) を配水しました。

建設改良

水道管の老朽化に伴う事故などを防止するため、緑ヶ丘一丁目地内配水管改良工事や緑ヶ丘四丁目地内配水管改良工事などを行いました。維持管理や将来的な更新費用を削減し、水道事業の効率化を図るため、南部配水連絡管整備工事や南部統合配水池造成工事などを行いました。

業務量

事項	令和3年度	令和4年度	増減率
給水人口	10万522人	10万947人	0.42%
給水戸数	4万5147戸	4万5772戸	1.38%
人口普及率	98.55%	98.61%	-
年間総給水量	881万2346 [㊦]	874万5713 [㊦]	▲0.76%
1人1日あたり給水量	240.2 [㊦]	237.4 [㊦]	▲1.17%
年間有収水量	850万9754 [㊦]	842万787 [㊦]	▲1.05%
1日最大配水量	2万6744 [㊦] (5月30日)	2万7145 [㊦] (1月25日)	1.50%
料金収入	16億7095万 2千円	16億5108万 6千円	▲1.19%

収支

区分	収入 (A)	支出 (B)	差引 (A-B)
収益的収支	21億5288万 4千円	17億5623万 7千円	3億9664万 7千円
資本的収支	1923万 6千円	9億657万 2千円	▲8億8733万 6千円

◇収益的収支とは、経営活動に伴い発生した当年度の水道・下水道事業の収支のことです。また、資本的収支とは、将来の経営活動に備えて行う建設改良事業などの収支を表しています。

◇収益的収支は税抜き、資本的収支は税込みの表示です。

◇資本的収支の不足分は、減価償却費などを賄う給水収益による現金(損益勘定留保資金)などで補てんしました。

◇損益計算書や貸借対照表などの財務諸表は、市ホームページに掲載しています。

●問い合わせ先 企業総務課 ☎(580)1933

下水道事業会計

営業

令和4年度の下水道事業では、916万9821[㊦] (前年度比1.39%減) の下水道使用により、使用料収入は12億7889万7千円でした。

令和4年度末の整備済面積は1467ヘクタール (ha) となり (計画面積1532 haに対して95.8%)、また人口普及率は99.9%に達しています。

建設改良

汚水施設の老朽化に伴う事故などを防止するため、大野西処理分区外污水管調査業務や筒井処理分区外人孔蓋改築工事などを行いました。都市型災害による浸水対策のため、瑞穂町二丁目地内雨水施設築造工事などを行いました。

業務量

事項	令和3年度	令和4年度	増減率
整備済面積	1467ha	1467ha	0.00%
水洗化済人口	10万1740人	10万2140人	0.39%
水洗化戸数	4万5639戸	4万6276戸	1.40%
人口普及率	99.9%	99.9%	-
年間有収水量	929万9288 [㊦]	916万9821 [㊦]	▲1.39%
料金収入	14億8930万 6千円	12億7889万 7千円	▲14.13%

※令和4年度は物価高騰支援策として、下水道使用料基本料金の免除実施(令和4年9月~令和5年2月分)のため、前年度より料金収入が減となっている。

収支

区分	収入 (A)	支出 (B)	差引 (A-B)
収益的収支	21億2477万 3千円	18億4102万 7千円	2億8374万 6千円
資本的収支	4億3752万 5千円	13億1264万 4千円	▲8億7511万 9千円